

「戦争と平和を考えよう」

資料名	著者名	出版者	請求記号
1 米英軍記録が語る福島空襲	紺野 滋 // 著	歴史春秋出版	092/3
2 ケネディを沈めた男	星 亮一 // 著	潮書房光人社	092.8 /ハ
3 祈りの碑	長島 雄一 // 著	歴史春秋出版	092.8 /ハ
4 遥かなる日々	伊藤 剛 / 著	伊藤剛	099.6 /イ
5 吾が青春に悔いあり	菅野 孝明 / 文・イラスト	ふくしま平和のための戦争展 実行委員会	099.6 /カ
6 集団服毒自決生還への手記	岸 チヨ / 著	新風書房	099.6 /キ
7 戦場から会津へ	高橋 恵子 // 著	歴史春秋出版	099.6 /タ
8 祖国よ!	福島 泰樹 // 著	幻戯書房	099.6 /ヲ
9 若い人に伝える	戦争体験文集を作る会 / 編	戦争体験文集を作る会	099.6 /ワ
10 わたしの八月十五日	わたしの八月十五日編集委員 会 // 編	歴史春秋出版	099.6 /ワ
11 危機と人類	上 ジャレド ダイアモンド // 著	日本経済新聞出版社	209.5 /ダ /1
12 危機と人類	下 ジャレド ダイアモンド // 著	日本経済新聞出版社	209.5 /タ /2
13 白人侵略	三谷 郁也 // 著	ハート出版	209.5 /ミ
14 杉原千畝とコルベ神父	早乙女 勝元 // 著	新日本出版社	209.7 /サ
15 裏切られた自由	上 ハーバート フーバー // 著	草思社	209.7 /フ /1
16 裏切られた自由	下 ハーバート フーバー // 著	草思社	209.7 /フ /2
17 地図とグラフで見る第2次世界大戦	ヴァンサン ベルナル // 著	原書房	209.7 /ハ
18 沈黙の子どもたち	山崎 雅弘 // 著	晶文社	209.7 /ヤ
19 第九 永遠なり	徳島新聞編集局 / 編	徳島新聞社	210.6 /ダ
20 半藤一利語りつくした戦争と平和	半藤 一利 // 述	東京新聞	210.6 /ハ
21 近現代史からの警告	保阪 正康 // 著	講談社	210.6 /ホ
22 陰謀の日本近現代史	保阪 正康 // 著	朝日新聞出版	210.6 /ホ
23 日本の戦争:歴史認識と戦争責任	山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6 /ヤ
24 日本の戦争	2 山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6 /ヤ /2
25 日本の戦争	3 山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6 /ヤ /3
26 風刺画が描いたJAPAN	若林 悠 // 編著	国書刊行会	210.6 /ワ
27 きみの大逆転	青山 繁晴 // 著	ワニ・プラス	210.7 /ア
28 「名将」「愚将」大逆転の太平洋戦史	新井 喜美夫 // 著	講談社	210.7 /ア
29 特攻隊の<故郷>	伊藤 純郎 // 著	吉川弘文館	210.7 /イ
30 731部隊と戦後日本	加藤 哲郎 // 著	花伝社	210.7 /カ
31 樺太地上戦	NHKスペシャル取材班 // 著	KADOKAWA	210.7 /カ
32 彼女たちは、なぜ、死を選んだのか?	川嶋 康男 // 著	敬文舎	210.7 /カ
33 アメリカ海軍艦載機の日本空襲	工藤 洋三 // 著	工藤 洋三	210.7 /ク
34 原爆投下部隊	工藤 洋三 // 著	工藤 洋三	210.7 /ク

資料名	著者名	出版者	請求記号
35 日本の都市を焼き尽くせ！	工藤 洋三 // 著	工藤 洋三	210.7 /ク
36 米軍の写真偵察と日本空襲	工藤洋三 // 著	工藤 洋三	210.7 /ク
37 女たちのシベリア抑留	小柳 ちひろ // 著	文藝春秋	210.7 /コ
38 戦災語り部ガイド	後藤 律子 // 著	文芸社	210.7 /コ
39 朝鮮半島で迎えた敗戦	城内 康伸 // 著	大月書店	210.7 /シ
40 戦時下の暮らし	小泉 和子 // 監修	平凡社	210.7 /セ
41 ぼくらの戦争なんだぜ	高橋 源一郎 // 著	朝日新聞出版	210.7 /タ
42 朝鮮出身の帳場人が見た慰安婦の真実	崔 吉城 // 著	ハート出版	210.7 /チ
43 日ソ戦争1945年8月	富田 武 // 著	みすず書房	210.7 /ト
44 「駅の子」の闘い	中村 光博 // 著	幻冬舎	210.7 /ナ
45 AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争	庭田 杏珠 // [編]著	光文社	210.7 /ニ
46 原爆初動調査隠された真実	NHKスペシャル取材班 // 著	早川書房	210.7 /ニ
47 日米戦争を策謀したのは誰だ！	林 千勝 // 著	ワック	210.7 /ハ
48 昭和史	半藤 一利 // 著	平凡社	210.7 /ハ
49 戦争というもの	半藤 一利 // 著	PHP研究所	210.7 /ハ
50 ずっと、ずっと帰りを待っていました	浜田 哲二 // 著	新潮社	210.7 /ハ
51 「玉砕の島」ペリリューから帰還した父	ゆき恵 ヒアシュ // 著	潮出版社	210.7 /ヒ
52 ソ連兵へ差し出された娘たち	平井 美帆 // 著	集英社	210.7 /ヒ
53 戦争と平和	百田 尚樹 // 著	新潮社	210.7 /ヒ
54 ビルマ絶望の戦場	NHKスペシャル取材班 // 著	岩波書店	210.7 /ヒ'
55 朝鮮戦争を戦った日本人	藤原 和樹 // 著	NHK出版	210.7 /ク
56 昭和天国と地獄	邨野 継雄 // 編著	朝日新聞出版	210.7 /ム
57 図説日中戦争	森山 康平 // 著	河出書房新社	210.7 /モ
58 少女たちがみつめた長崎	渡辺 考 // 著	書肆侃侃房	210.7 /ワ
59 敗者としての東京	吉見 俊哉 // 著	筑摩書房	213.6 /ヨ
60 原爆	石井 光太 // 著	集英社	217.6 /イ
61 呉・江田島・広島戦争遺跡ガイドブック	奥本 剛 // 著	潮書房光人新社	217.6 /オ
62 戦後ヒロシマの記録と記憶	上 小倉 馨 // 著	名古屋大学出版会	217.6 /オ /1
63 戦後ヒロシマの記録と記憶	下 小倉 馨 // 著	名古屋大学出版会	217.6 /オ /2
64 日本にとって沖縄とは何か	新崎 盛暉 // 著	岩波書店	219.9 /ア
65 沖縄戦の発掘 沖縄陸軍病院南風原壕群	池田 榮史 // 著	新泉社	219.9 /イ
66 沖縄「戦争マラリア」	大矢 英代 // 著	あけび書房	219.9 /オ
67 沖縄戦を知る事典	吉浜 忍 // 編	吉川弘文館	219.9 /オ
68 ドキュメント<アメリカ世>の沖縄	宮城 修 // 著	岩波書店	219.9 /ミ
69 証言沖縄スパイ戦史	三上 智恵 // 著	集英社	219.9 /ミ
70 検証ナチスは「良いこと」もしたのか？	小野寺 拓也 // 著	岩波書店	234.0 /オ

資料名	著者名	出版者	請求記号
71 ナチ 本の略奪	アンデシュ リデル // 著	国書刊行会	234.0 /リ
72 東ドイツある家族の物語	マクシム レオ // 著	アルファベータブックス	234.0 /ル
73 ナチの妻たち	ジェイムズ ワイリー // 著	中央公論新社	234.0 /ワ
74 ホロコーストの現場に行く	大内田 わこ // 著	東銀座出版社	234.9 /オ
75 アメリカの原爆神話と情報操作	井上 泰浩 // 著	朝日新聞出版	253.0 /イ
76 戦争の歌がきこえる	佐藤 由美子 // 著	柏書房	253.0 /サ
77 清六の戦争	伊藤 絵理子 // 著	毎日新聞出版	289.1 /イ
78 カミカゼの幽霊	神立 尚紀 // 著	小学館	289.1 /オ
79 沖縄戦を生き抜いて	小澤 高子 // 述	芙蓉書房出版	289.1 /オ
80 真珠湾の代償	福井 雄三 // 著	毎日ワズ	289.1 /カ
81 異端の被爆者	横井 秀信 // 著	新潮社	289.1 /コ
82 アウシュヴィッツを生きのびた「もう一人のアンネ・フランク」自伝	エディス エヴァ イーガー // 著	パンローリング	289.3 /イ
83 光に向かって這っていけ	サーロー節子 // 著	岩波書店	289.3 /サ
84 イレナの子供たち	ティラー J.マツツエオ // 著	東京創元社	289.3 /セ
85 黒い雨に撃たれて	上 パメラ ロトナー サカモト // 著	慶應義塾大学出版会	289.3 /ワ /1
86 黒い雨に撃たれて	下 パメラ ロトナー サカモト // 著	慶應義塾大学出版会	289.3 /ワ /2
87 ウクライナの夜	マーシ ショア // 著	慶應義塾大学出版会	302.3 /シ
88 ウクライナ戦記	宮嶋 茂樹 // 著	文藝春秋	302.3 /ミ
89 杉原千畝とスターリン	石郷岡 建 // 著	五月書房新社	316.8 /イ
90 ホロコースト最年少生存者たち	レベッカ クリフォード // 著	柏書房	316.8 /ク
91 ウクライナ戦争と米中対立	峯村 健司 // 著	幻冬舎	319.3 /ウ
92 ウクライナ侵略戦争	『世界』編集部 // 編	岩波書店	319.3 /ウ
93 ウクライナ侵攻までの3000日	大前 仁 // 著	毎日新聞出版	319.3 /オ
94 ウクライナ戦争はなぜ終わらないのか	高橋 杉雄 // 編著	文藝春秋	319.3 /タ
95 ウクライナ戦争の嘘	手嶋 龍一 // 著	中央公論新社	319.3 /テ
96 ウクライナ戦争をどう終わらせるか	東 大作 // 著	岩波書店	319.3 /ヒ
97 戦争とデータ	五十嵐 元道 // 著	中央公論新社	319.8 /イ
98 新・世界から戦争がなくなる本当の理由	池上 彰 // 著	祥伝社	319.8 /イ
99 世界は広島をどう理解しているか	井上 泰浩 // 編著	中央公論新社	319.8 /イ
100 14歳のヒロシマ	梶本 淑子 // 著	河出書房新社	319.8 /カ
101 核兵器禁止から廃絶へ	川崎 哲 // 著	岩波書店	319.8 /カ
102 高校生平和大使にノーベル賞を	「高校生平和大使にノーベル賞を」刊行委員会 // 編	長崎新聞社	319.8 /コ
103 ナガサキ	スーザン サザード // 著	みすず書房	319.8 /サ
104 世界を平和にする第一歩	河出書房新社 // 編	河出書房新社	319.8 /セ
105 戦争と平和を考えるNHKドキュメンタリー	日本平和学会 // 編	法律文化社	319.8 /セ
106 「戦争への道」ではなく「平和への道」を進もう	高橋 信敏 // 著	清風堂書店	319.8 /タ

資料名	著者名	出版者	請求記号
107 明子のピアノ	中村 真人 // 著	岩波書店	319.8 /ナ
108 核のある世界とこれからを考えるガイドブック	中村 桂子 // 著	法律文化社	319.8 /ナ
109 被爆者からあなたに	日本原水爆被害者団体協議会 // 編	岩波書店	319.8 /ヒ
110 いま、<平和>を本気で語るには	ノーマ フィールド // 著	岩波書店	319.8 /カ
111 「戦争」は許されるのか?	稲葉 義泰 // 著	イカロス出版	329 /イ
112 戦争をいかに語り継ぐか	水島 久光 // 著	NHK出版	361.4 /ミ
113 東京大空襲の戦後史	栗原 俊雄 // 著	岩波書店	369.3 /ク
114 骨が語る兵士の最期	檜崎 修一郎 // 著	筑摩書房	369.3 /ナ
115 あの戦争さえなかったら	上 藤沼 敏子 // 著	津成書院	369.3 /ク
116 あの戦争さえなかったら	下 藤沼 敏子 // 著	津成書院	369.3 /ク /2
117 戦争はいかに終結したか	千々和 泰明 // 著	中央公論新社	391 /フ
118 独ソ戦	大木 毅 // 著	岩波書店	391.2 /オ
119 空の戦争史	田中 利幸 // 著	講談社	391.2 /タ
120 コード・ガールズ	ライザ マンディ // 著	みすず書房	391.6 /マ
121 明治期北海道の兵士たち	相庭 達也 // 著	北海道大学出版会	396.2 /ア
122 大東亜戦争戦犯として処刑された陸軍将官36人列伝	伊藤 禎 // 著	展望社	396.2 /イ
123 三八式歩兵銃	加登川 幸太郎 // 著	筑摩書房	396.2 /カ
124 原爆の父オッペンハイマーはなぜ死んだか	西岡 昌紀 // 著	飛鳥新社	559.7 /ニ
125 原爆投下、米国人医師は何を見たか	ジェームズ L.ノーラン Jr. // 著	原書房	559.7 /ノ
126 戦禍の記憶	大石 芳野 // 著	クレヴィス	748 /オ
127 長崎の証言		JRP日本リアリズム写真集団 長崎支部	748 /ナ
128 戦争と平和 ある観察	中井 久夫 // 著	人文書院	914.6 /ナ
129 記憶の光景・十人のヒロシマ	江成 常夫 // 編著	論創社	916 /エ
130 高倉健の想いがつないだ人々の証言「私の八月十五日」	小田 貴月 // 著	今人舎	916 /オ
131 女も戦争を担った	川名 紀美 // 著	河出書房新社	916 /カ
132 抑留	木村 正則 // 著	文芸社	916 /キ
133 少女たちの戦争	中央公論新社 // 編	中央公論新社	916 /シ
134 戦争が立っていた		暮しの手帖社	916 /セ
135 わが米本土爆撃	藤田 信雄 // 著	毎日ワンス	916 /ク
136 水木しげるのラバウル従軍後記	水木 しげる // 著	中央公論新社	916 /ミ
137 太陽はきっとどこかで輝いている	ミハエル グルエンバウム // 著	新評論	936 /グ
138 アウシュヴィッツで君を想う	エディ デ ウインド // 著	早川書房	949.3 /ク
139 アンネの日記	小川 洋子 // 著	NHK出版	949.3 /ク
140 アウシュヴィッツの小さな姉妹	タチアナ ブッチ // 著	アストラハウス	976 /グ
141 戦争日記	オリガ グレベンニク // 著	河出書房新社	986 /グ